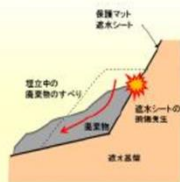




環境大臣賞

廃棄物のすべりによる遮水シートの損傷



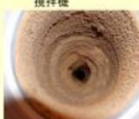
- 【分類】オープン型最終処分場
 【対象】遮水基盤
 【内容】廃棄物のすべりによる遮水シートの損傷
 【原因】埋立地底部の急な縦断勾配
 【対策】遮水シートと保護マットとの間の摩擦考慮(設計時)
 ・下流側からの薄層埋立、廃棄物の混合等(埋立時)

●検査のポイント★沈下、陥没・水平移動・遮水工破損の有無確認

最終処分場のトラブル事例と対策



浸出水処理施設の機器類、配管のスケールによる機能低下



- 【分類】浸出水処理施設
 【対象】機器・配管
 【内容】機器類、配管のスケールによる機能低下
 【原因】焼却灰と埋立によるカルシウムスケールの付着
 【対策】樹脂やライニング等スケール付着しにくい材質に交換
 ・スケール分散剤添加設備の設置
 ・定期的清掃
 (腐食箇所により対策を選択)
 ・埋立廃棄物の見直し

●検査のポイント●スケール付着箇所、状況の確認及び浸出水カルシウム濃度の確認

水処理機器類・配管の機能障害例と対策状況



貯留構造物検査状況

廃棄物処理分野

廃棄物最終処分場の機能検査者育成

取組概要

我が国では廃棄物最終処分場が4,000箇所以上が供用されており、概ね埋立期間15年間で計画され、埋立終了後も廃棄物が周辺環境に支障を与えない状態となるまで維持管理が行われている。しかし現状では、50年以上と大幅に計画期間を超えて使用されているケースも多い。そのような背景の中、長期にわたり安全で安心な最終処分場の機能を維持していくことが社会から求められており、当協会では、施設の機能検査を適正に行うことができる人材育成を目指して最終処分場機能検査者資格認定制度を確立し、最終処分場が抱える諸問題の早期発見と機能保全を可能とする機能検査を実施している。

受賞理由

社会インフラとしての最終処分場の信頼性を維持する人材基盤づくりにつながることで、長期間運用される最終処分場の維持管理への貢献が大きいことが評価された。

取組のポイント

- 機能検査者認定講習と試験を2005年から実施し、延べ456人の機能検査者を輩出
- 機能検査者有資格者について、3年ごとに更新講習を実施し、最新の知見を共有できる継続教育を実施
- 当協会は機能検査も実施しており、その実績15件で、維持管理や施設の改善等の提言を実施
- 機能検査の実施により、運営管理者が気づかない点について提言を行うことにより、施設の健全性確保に寄与
- 能登半島地震に対しても、情報収集と被害を受けた最終処分場の点検と復旧計画等に関する助言等を実施

受賞者について



理事長
石井 一英

受賞者

NPO-LSA

特定非営利活動法人 最終処分場技術システム研究協会

コメント

この度は、名誉ある環境大臣賞を賜りまして感謝申し上げます。また、審査等にご尽力された関係者の皆様に御礼申し上げます。

私たちNPO最終処分場技術システム研究協会は、かねてより、最終処分場の適正な維持管理が特に重要であることを唱えて参りました。その適正な維持管理のためには、定期的な機能検査が必要であり、そのための人材育成が重要であるという思いから、機能検査者の育成に努めて参りました。この度、このような私たちの活動が認められて大変光栄に思います。

今後も安全・安心な最終処分場の計画・設計・施工・維持管理(廃止まで)に関する研究や普及活動に尽力していきたく思いますので、引き続き、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

団体概要

NPO最終処分場技術システム研究協会は平成6年に発足し、平成13年に内閣府よりNPO認証を受けた法人です。

最終処分場に係る産官学で構成された、我が国唯一の技術・研究集団として活動しています。

問い合わせ先

特定非営利活動法人 最終処分場技術システム研究協会

【事務局】E-mail: office@npo-lsa.jp

TEL: 03-3280-5970 FAX: 03-3280-5973